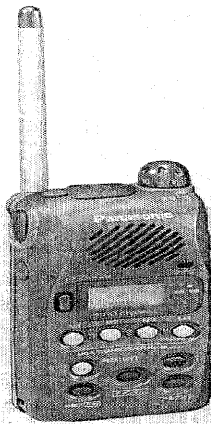


Panasonic



特定小電力
トランシーバー
ミニパ
品番 RJ-MC200
取扱説明書

このたびは特定小電力トランシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保存し、必要なときお読みください。

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

上手に使うって上手に節約

保証書別添付

付属品

- 単3形アルカリ乾電池 (3本)
- ベルトクリップ
- ハンドストラップ

特長

- 単信11チャンネルの周波数帯を使用
- 空きチャンネルを自動選択するオートチャンネル(自動)と手動の2モードを搭載
- アウトドアでも安心の日常生活防水設計 (JIS保護等級4、防まつ型相当)

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	RJ-MC200
販売店名		電話()	—
お相談センター		電話()	—

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

RQT2422-S
F1293N1064

電源

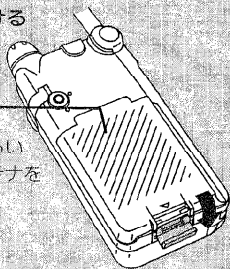
単3形乾電池3本で使用できます。

- 持続時間の長いアルカリ乾電池の使用をおすすめします。
- 電池を交換する前に、まず電源が切れていることを確認してください。

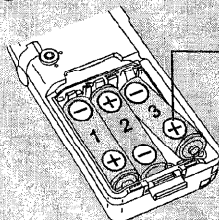
1 電池ふたを開ける

電池ふた

- ふたが開けづらいときは、アンテナを動かします。



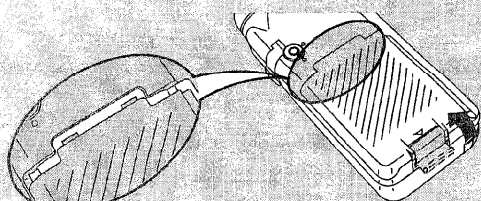
2 電池を入れる



単3形乾電池(付属)

⊕、⊖を正しく入れる。

3 電池ふたを閉める



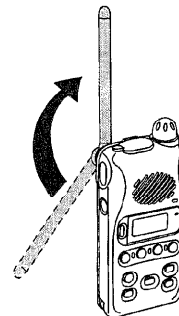
①電池ふた上部を合わせる

②カチッと音がするまで押す

通話のまえに(準備)

アンテナを立てます

アンテナを垂直にした状態でお使いください。
アンテナに手を触れたり、身体に密着させると通話距離が短くなります。

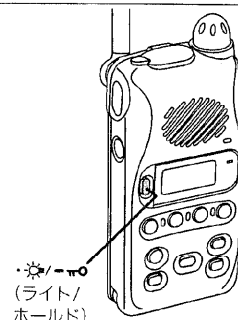


誤操作を防ぐには

ホールド状態にすると、通話に必要なボタン以外は動かないので、誤操作を防ぐことができます。
電源を入れたままで持ち運ぶときなどに便利です。

ホールド状態でも働くボタン

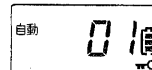
- ・トークボタン
- ・モニターボタン
- ・ライト/ホールドボタン
- ・チャンネルボタン (自動モード時のみ通話切ボタンとして働きます。)



■ホールドの切り換え

- ・ (ライト/ホールド) ボタンを1秒以上長押しする

押すたびに
ホールド() → 解除



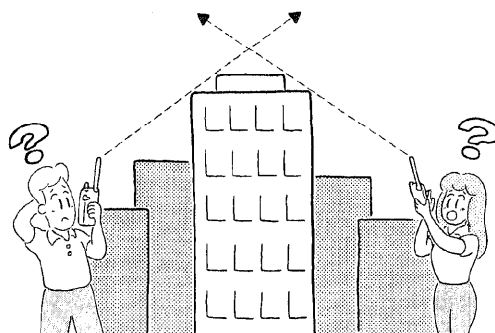
- ボタン操作する前は、必ずホールド状態を解除してください。

通話距離のめやす

電波の届く距離は、使用条件や、使用する場所によって異なります。

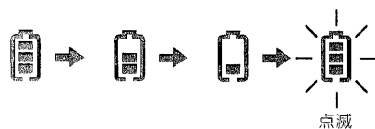
市街地	約100m~200m
見通しのよい場所	約1.5km~3km

コンクリートの壁や自動車など金属物体の近くでは、通話距離が短くなります。



電池の交換時期について

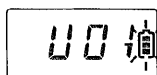
電池残量表示で電池の消耗状態を確認できます。
表示は下のように変化します。



電池残量表示

■電池が消耗すると

ディスプレイに“U01”が表示され、電池残量表示が点滅します。
新しい電池と交換してください。
電池を交換せずに、さらに消耗がすすむと、自動的に電源が切れます。



自動モードで通話する

- チャンネルが自動的に選択される通話方法です。
- ディスプレイのトークが表示されたら約3分間交互に通話できます。

RJ-MC200(自動モード時)、またはRJ-TL100(単信通話時)と通話できます。

1 音量/切つまみをまわし、電源を入れる

2 自動/手動 ボタンを押し、“自動”を表示させる
押すたびに 自動→手動

3 +、- ボタンを押し、相手と同じコールナンバー(1-38)に合わせる
+ 数字が上がる
- 数字が下がる

4

モニターボタン
送信/受信ランプ
チャンネルボタン
マイク

自動 0 10

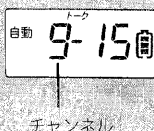
自動 15

コールナンバー

4-1 相手を呼び出したとき

トークボタンを押す

ピ、と鳴って“トーク”とチャンネルが表示され、相手とつながります。(通話開始)



4-2 呼ばれたとき

ビビ、ビビと鳴って“トーク”とチャンネルが表示され、相手とつながります。(通話開始)



5

5-1 送信するには

トークボタンを押しながらマイクに向かって話す

- 送信/受信ランプが赤く点灯します。

【注意】

送信/受信ランプが緑色のときは受信中です。送信しないでください。

マイクと口元との距離は約5cmぐらいが適当です。

- 近すぎると声がひずみ、離れすぎると聞こえにくくなります。



5-2 受信すると

トークボタンを押さずに待っていると、スピーカーから声が聞こえます。

- 電波を受信すると(音声信号がなくても)、送信/受信ランプが緑に点灯します。

途中で通話を止めるとき

相手に通話の終了を伝えてから、双方とも**チャンネル**ボタンを2回早押しする。

- ビビビと鳴って上の手順3に戻ります。

相手の声が聞きとりにくいとき

距離が離れすぎて音声途切れるときは、モニターボタンを押してください。雑音に混じって音声が聞こえることがあります。もとに戻すには、もう一度モニターボタンを押します。

相手とつながらないとき

- 呼び出したい相手が電源を切っている
 - 距離が離れ過ぎていて、電波が届かない
- このようなときはビビビと鳴って手順3に戻ります。

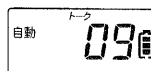
通話時間制限について

1回の通話時間は約3分間です。

■残り時間のカウントダウン

通話終了の10秒前になると、ピと音が鳴り、ディスプレイに残り時間(秒)が表示されます。3分を過ぎるとビビビと鳴って自動的に通話が終了し、手順3に戻ります。

- 続けて通話するときは、約2秒待ってから相手を呼び出してください。



【参考】

誤操作防止のため、通話中はコールナンバーや通話モードの変更ができません。

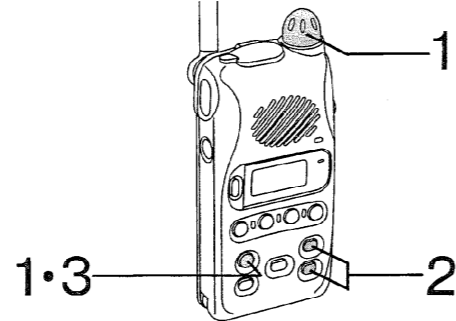
便利な使い方(1)

●3台以上のトランシーバーを使っているときに便利です。

自分の専用番号を設定する(MYモード) ●自動モード時のみ設定できます。

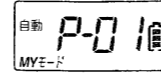
コールナンバーの中から1つ、自分の専用番号として設定できます。専用番号での呼び出しがあると、表示されているコールナンバーにかかわらず、呼び出し音が鳴り、通話を始めることができます。他のコールナンバーを使って通話した後、自分の番号に戻さなくてもよいので、便利です。

●通話相手に知らせ、相手もMYモードにしてお使いください。



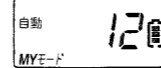
例：専用番号を12に設定する

1 (MY)ボタンを押しながら電源を入れて、“MYモード”を表示させる

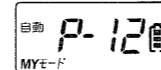


1の操作をするたびにMYモード(MYモード)→解除

2 +、-ボタンを押して“12”を表示させる



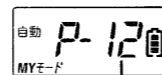
3 (MY)ボタンを2秒以上長押しする
●ピピピと音が鳴り、12が自分の専用番号に設定されました。



専用番号を変えるには手順1から3を繰り返す

自分の専用番号を確認するには

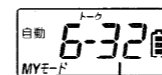
ホールドを解除した状態で一度電源を入れなおすと専用番号が表示されます。



自分の専用番号

ご参考

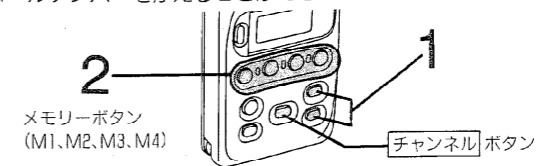
呼び出しがあると、ディスプレイに相手の専用番号が表示されます。次と同じ相手と通話したいとき、そのままトークボタンを押すだけで呼び出せるので便利です。



相手の専用番号

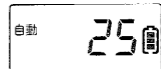
よく使用するコールナンバーをメモリーする

メモリーしておく、相手呼び出しのときに、簡単にコールナンバーをかえることができます。

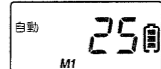


例：コールナンバー25をM1ボタンにメモリーする

1 +、-ボタンを押して、“25”を表示させる

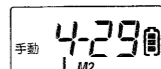


2 M1ボタンを1秒以上長押しする
●ピピピと音が鳴ります。



■手動モード(裏面参照)でメモリーするには

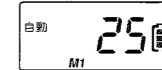
チャンネルボタンでチャンネルを選び、チャンネルとコールナンバーの組み合わせをメモリーします。



チャンネル

メモリーした番号を使うには

メモリーボタン(M1、M2、M3、M4)をポンと押す
メモリーされたコールナンバーが表示されます。



MYモードとメモリーを組み合わせる時の例(自動モードのみ)

MYモードに切り換えて、それぞれの専用番号を決める



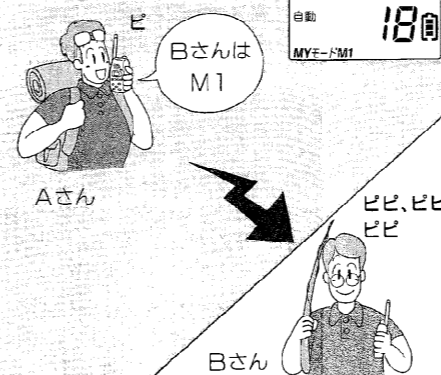
●自分の専用番号を仲間に知らせておきます。

仲間の専用番号をメモリーしておく

メモリーボタン	名前
M1	Bさん(18)
M2	Cさん(30)
⋮	⋮

相手呼び出しのとき

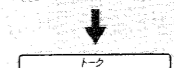
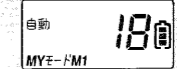
メモリーボタンで、相手の専用番号を表示させてから、トークボタンを押して呼び出します。



呼ばれると

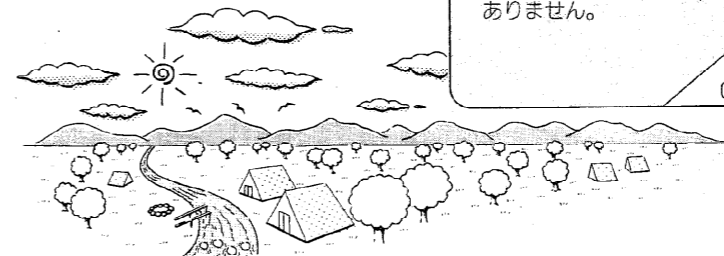
ビビ、ビビ、ビビ

●自分の専用番号に戻しておく必要がありません。

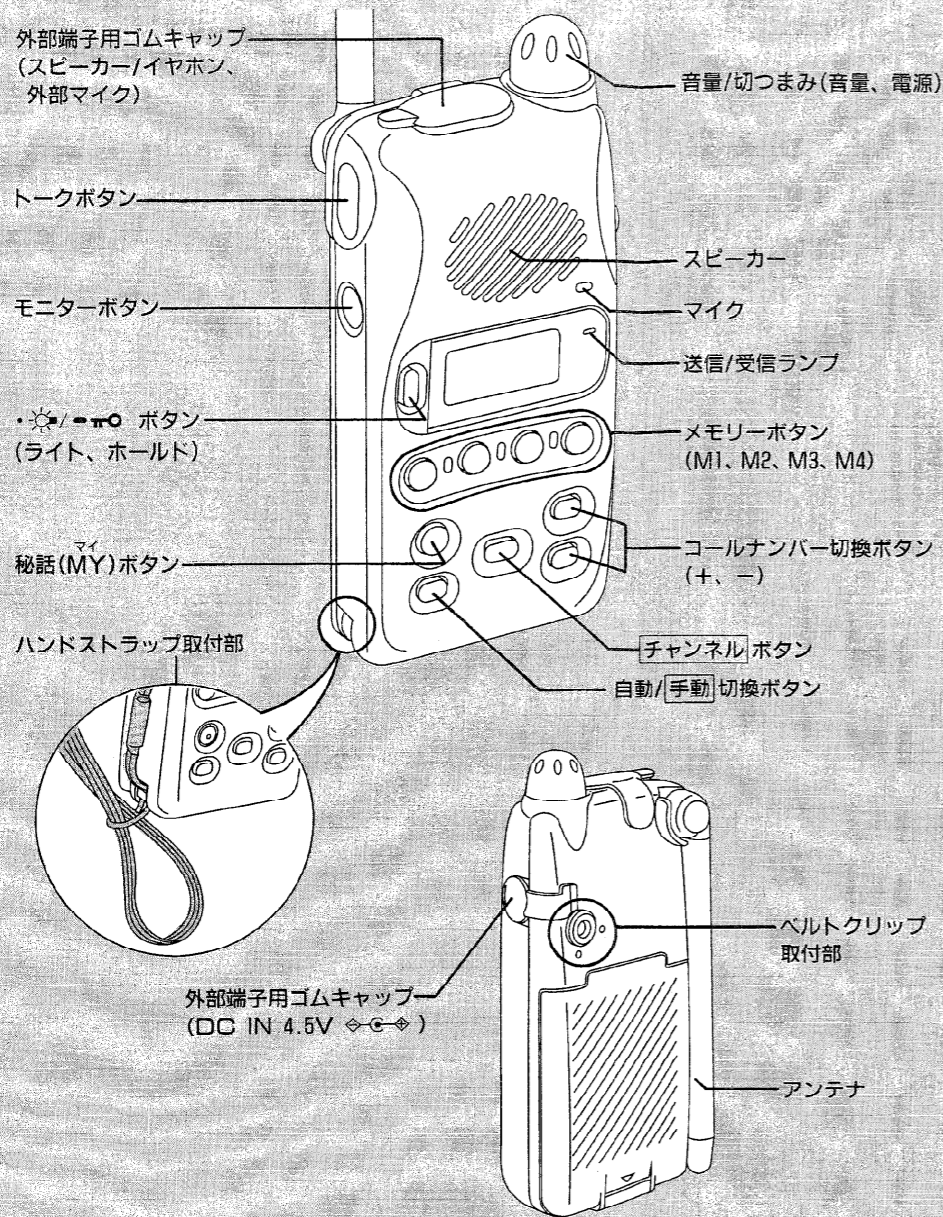


相手の専用番号

Cさん

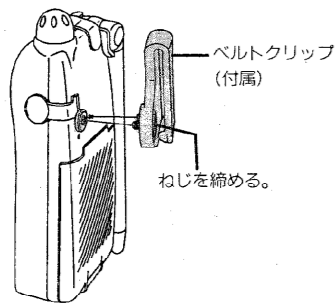


各部のなまえ

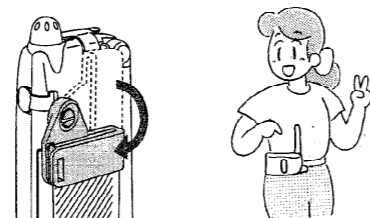


ベルトクリップの使い方

図のように本体に取り付けます。



横向きに取り付けることもできます。



ご注意/お手入れ

本機は郵政省の技術基準適合証明を受けて発売していますから、免許は不要です。

お求めになったその時から、すぐにご利用いただけます。

使用時のご注意

■電波法を守ってご使用ください。

本機底面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、法律で禁じられています。

●他人の通信を聞いて、これを漏らしたり窃用しないでください。

●本機の使用は日本国内に限られています。

●旅客用航空機の中では、使用しないでください。

●ラジオやテレビの近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらの機器からは離れて使用してください。

本体

■夏の閉め切った車内に放置しないでください。

100度に達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

乾電池

乾電池の破損・液漏れなどの防止のために、つぎのことをお守りください。

● \oplus プラスと \ominus マイナスは正しく入れる。

●新しい乾電池と、使用した乾電池は混用しない。

●違う種類の乾電池は混用しない。

●乾電池は充電しない。

●長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておく。

●火の中への投入や、ショート、加熱はしない。

電池の持ち運び

ポケットやかばんに入れるときは、ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。ショートし、発熱するおそれがあります。

使用済みの充電式ニカド電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。



お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水や石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

●アルコールやシンナーは使わないでください。

●化学そうじんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

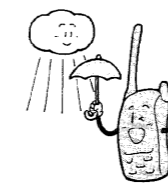


■本機は日常生活防水です。

(JIS保護等級4、防まつ型相当)

雨や雪のなかでも、濡れた手でも使えます。

水につけると故障の原因となります。



定格

電波型式：F3E、F2D

送受信周波数：422.0500-422.1750MHz
(12.5kHzステップ11ch、F3E)
422.1875MHz (周波数制御ch、F2D)

周波数安定度： ± 4 ppm

使用温度範囲： -10°C ~ $+50^{\circ}\text{C}$

電源

乾電池：DC4.5V (付属単3形アルカリ乾電池 $\times 3$ 個)

充電式電池：DC3.6V (別売り充電式電池RP-BP20)

外部電源：AC100V、50/60Hz (別売りACアダプターRP-AC41A)
DC12/24V (別売りカーアダプターSH-CDC9)

送信出力：10mW

低周波出力：80mW (EIAJ)

受信感度： $-11\text{dB}\mu$ (12dB SINAD)

最大外形寸法：59(W) \times 125(H) \times 35(D)mm

重量：約190g (乾電池含む)

電池持続時間

使用電池	通話時	連続待受時
付属パナソニックアルカリ乾電池LR6	約36時間	約100時間
別売り充電式電池RP-BP20	約15時間	約35時間

測定条件：(通話時) 待受48秒、送信6秒、受信6秒

電池持続時間は使用条件により、短くなる場合があります。

この定格は性能向上のため変更することがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください
電源が入らない。	●電池が消耗していませんか。 ● \oplus 、 \ominus が正しく入っていますか。
"U01"が表示された。	●電池が消耗しています。
通話できない。	●相手と同じコールナンバーに合わせていますか。 ●相手との距離が離れすぎていませんか。
電源が切れてしまった。	●オートオフ機能を使っていませんか。 ●一度電源を入れ直してください。
ボタン操作できない。	●ホールドになっていませんか。
音声がおかしい。	●秘話機能を使っていませんか。
ディスプレイに異常な表示が出る。	●一度電源を入れなおしてください。
自動モードまたはMC100モードで通話中に	
トークボタンを押してもピピピと鳴り、送信できない。	●電源を入れなおして相手からの呼び出しを待ってください。
相手からの応答がない。	●通話を終了させてから、もう一度相手を呼び出してください。

アフターサービスについて

保証書 (別に添付してあります。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間—お買い上げ日から1年間

修理を依頼されるとき

上の「故障かな!?'に従って調べていただき、直らないときにはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合は、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にご連絡ください。

■保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

販売店にご依頼にならない場合は、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にご連絡ください。

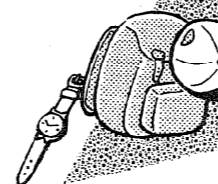
補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

アフターサービスについておわかりにならないとき

お買い上げの販売店または、お近くの「お客様相談センター」(別紙)にお問い合わせください。

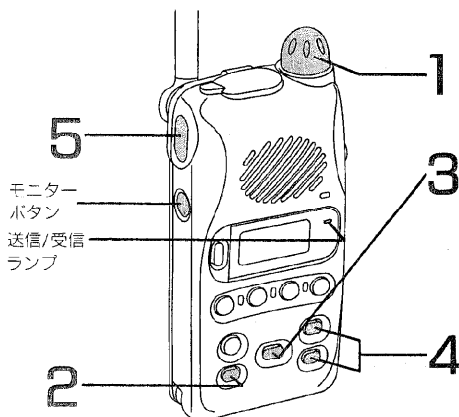


手動モードで通話する

使用するチャンネルを自分で選び、コールナンバーを合わせる
とすぐに通話できます。

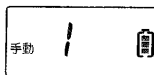
車で移動中や、別売りのヘッドセットを使って通話するときは、
手動モードをおすすめします。

●相手が自動モード(裏面参照)のときは通話できません。

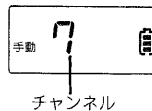


1 音量/切つまみをまわし、
電源を入れる

2 自動/手動 ボタンを押し、
“手動”を表示させる
押すたびに 自動→手動

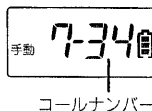


3 チャンネル ボタンを押し、
相手と同じチャンネル
(1から11)に合わせる
押すたびに 1→2→3...11



4 +、- ボタンを押し、
相手と同じコールナンバー
に合わせる

●1から38またはコールナンバーなし
を選べます。
1-2-3..... 37-38
└─ コールナンバーなし ─┘



5 送信するには

トークボタンを押しながらマイク
に向かって話す

●送信/受信ランプが赤く点灯しま
す。



注意

送信/受信ランプが緑色のときは受
信中です。トークボタンを押すと、
ピピピと鳴り送信できません。

受信すると

ボタンを押さずに待っていると、
スピーカーから声が聞こえます

●電波を受信すると(音声信号がな
くても)、送信/受信ランプが緑に
点灯します。



相手の声が聞き取りにくいとき

モニターボタンを押すと、雑音に混じって音声聞こえることがありま
す。元に戻すには、もう1度モニターボタンを押してください。

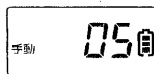
送信時間制限について

手動モードでは続けて30秒以上の送信はでき
ません。

残り時間のカウントダウン

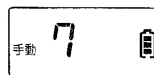
送信終了の5秒前になると、ピと音が鳴り、デ
ィスプレイに残り時間(秒)が表示されます。
30秒を過ぎるとピピピと鳴ります。

●続けて送信するときは、一度トークボタ
ンをはなし、約2秒待ってから再度トークボ
タンを押してください。



本機以外のトランシーバーと通話するとき

上の手順4でコールナンバーなしを選ぶと、他
の11チャンネル特定小電力トランシーバーと
も通話できます。



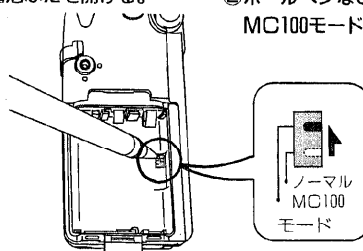
RJ-MC100と通話する

特定小電力トランシーバーRJ-MC100と通話する場合は、次の操作で
本機をMC100モードに切り換えてください。

①電池ふたを開ける。

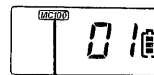
②ボールペンなどで

MC100モードに切り換える。



通話方法は自動モード通話と同じです。(裏面
の手順1、3、4、5)

ただし、コールナンバーは1から99の中から
選べます。



手動モード、MC100モード時も次の機能が使えます

よく使うコールナンバーをメモリーする

- 自動、手動、MC100の各モードで別々にメモリーできます。
- 手動モードでは、チャンネルとコールナンバーの組み合わせがメモリーされます。

秘話機能

ほかの人に話を聞かれたくないとき

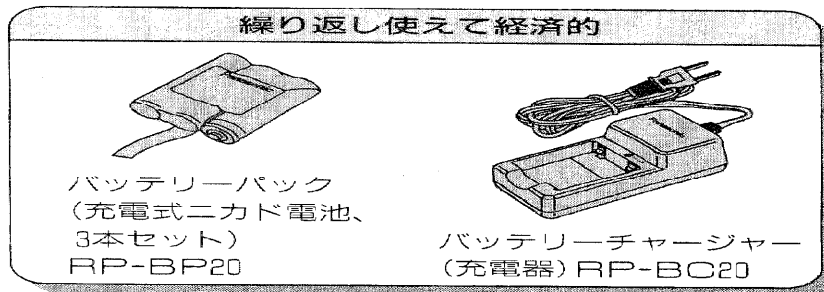
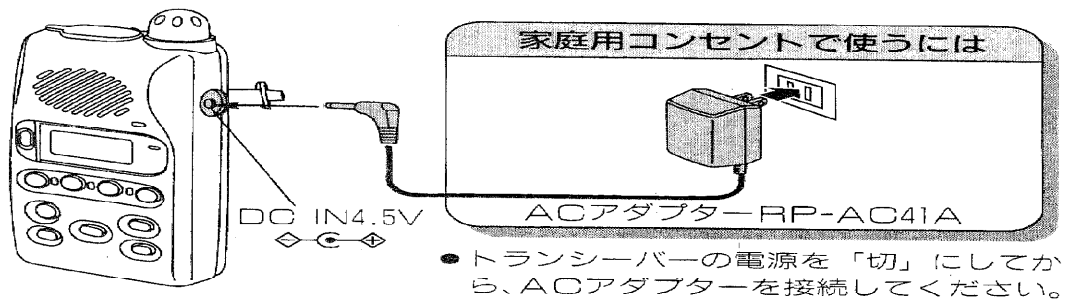
ディスプレイライト

暗い所で表示を確認したいとき

オートオフ

電源の切り忘れによる電池の消耗を防ぐ

別売り品と組み合わせて使う



- バッテリーパックのリボンを下向きにして本体に入れておくと、取り出すときに便利です。

